

令和5年度 一般会計決算附属資料

商工観光部 主要な施策の成果

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部	
	項	01 総務管理費	147,449千円		147,449千円	0千円	100.0 %			
	目	17 諸費					(参考)当初予算額	課	商工振興課	
	事業	07 原油価格・物価高騰対策支援給付金給付事業					0千円			
基本計画		01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				147,400千円	
目的	新型コロナウイルス感染症及び国際情勢等に起因する急激な原油価格の高騰を受け、厳しい経営状況にある市内事業者及び市内農林漁業者等の負担軽減と経営の安定を図る。				主な財源					
主要な事務・事業の概要	○エネルギー価格高騰対策支援給付金			147,449千円		【交付内訳】				
	【対象経費】 事業の用に供する光熱費					全体				
	(電気、ガス、ガソリン、軽油、灯油、重油及び混合油)					内運輸車両等燃料費対策分				
	【対象者】 市内に事業所等を有する個人・法人(農林漁業者含む)					交付件数				
	【対象期間】 令和5年4月～令和6年1月					交付額				
	【受付期間】 令和5年8月～令和6年3月					交付件数				
	【給付率等】					交付額				
	(1) 事業所光熱費対策分					商工振興課				
	・ 対象期間に支払った光熱費のうち任意に選択した5か月分の合計額の10%を交付					1,091件				
	・ 限度額：法人等：500千円、個人事業主等：300千円					119,251千円				
(2) 運輸車両等燃料費対策分					障害者福祉課					
・ 対象期間に支払った運輸車両の運行に要した燃料費の15%を交付					18件					
・ 車両1台当たり限度額：普通自動車／45千円、小型自動車／38千円、軽自動車／8千円					2,993千円					
					長寿福祉課					
					69件					
					14,593千円					
					農業振興課					
					206件					
					9,254千円					
					農林整備課					
					3件					
					800千円					
					海業水産課					
					8件					
					558千円					
					計					
					1,395件					
					147,449千円					
					84件					
					15,666千円					
					成果・課題					
					○原油価格・物価高騰に対して給付金を交付することにより、市内事業者及び市内農林漁業者等の負担軽減と経営の安定を図ることができた。					
					○令和4年度に引続き原油価格・物価高騰対策として給付金を行ったが、周知を徹底したことにより、申請件数が前年度よりも増加し幅広く支援ができた。					
					○引続き、市内の景況や国内及び府内のエネルギー価格の動向に注視し、支援策について必要に応じて検討を行う。					

予算科目	款	05 労働費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部	
	項	01 労働諸費	7,405千円	7,439千円	34千円	99.5 %			
	目	01 労働諸費				(参考)当初予算額	課	商工振興課	
	事業	01 人材確保・就職促進対策事業				12,099千円			
基本計画		01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興	主な財源						
目的	京丹後市地域雇用促進協議会が実施する人材確保等事業経費の一部を負担し市内事業所の人材確保を支援するとともに、資格取得を目指す求職者等の支援や職業訓練事業実施団体の運営・訓練費を補助し、就職促進と雇用の安定化を図る。								
主要な事務・事業の概要	○京丹後市地域雇用促進協議会負担金		4,376千円	○副業・兼業人材活用支援補助金					49千円
	雇用促進協議会 総事業費： 4,835千円			「京都府プロフェッショナル人材戦略拠点事業」「海の京都未来共創ネットワーク」が実施する副業・兼業マッチング事業を通じて副業・兼業人材を活用した際の求人掲載料に係る費用に対し補助					
	◆雇用促進事業、人材育成事業、研修事業 1,405千円			・交付件数：1件 ・補助率：対象経費の1/2以内、上限200千円					
	・きょうたんご就職フェア（参加者76人、参加企業35社）								
	◆企業魅力向上事業（若者雇用機会創出事業） 2,497千円			○インターンシップ人材確保支援補助金					50千円
成果・課題	・ローカルワークキャンプ（11月3～5日 参加企業4社、学生12人）			インターンシップを受け入れる企業が負担した交通費等に対し補助					
	・採用力強化セミナー（計2回開催、参加企業延べ20社）			・交付件数：1件 ・補助率：対象経費の1/2以内					
	◆広報事業等 933千円			○はたらく女性活躍応援事業補助金					500千円
	・企業ガイドブック作成（掲載企業61社、3,000部発行）			機械金属事業者が、女性が働きやすい職場環境の整備経費に対し補助					
	○丹後地域職業訓練協会運営費補助金		2,072千円	・交付件数：1件 ・補助率：対象経費の1/2以内、上限500千円					
成果・課題	・職業訓練講座：23講座26コース実施（R4：24講座27コース）			○職員旅費・有料道路通行料等					10千円
	・受講者：延べ254人（市内162人）（R4：延べ247人、市内137人）								
	○職業訓練校補助金		18千円	○京丹後市地域雇用促進協議会の事業に対し負担金を支出し、就職フェアや企業と学生の関係性づくりを目的としたローカルワークキャンプの開催等を支援し、マッチング機会の創出や企業の採用力の強化等を行った。 ○各種研修・職業訓練事業に対する支援を行うことで、労働者や求職者のスキルアップを支援した。 ○引き続き、地元就職希望者やU・Iターン希望者と企業とのマッチングを図り、人材確保や就労を促進するため、地域雇用促進協議会の取組を支援する必要がある。					
	・染色科開講（基礎Ⅰ） 受講者数：8人								
	○職業能力向上支援補助金		330千円						
・交付件数：64件（交付者数：41人）									
・補助率：研修受講料の2分の1以内（上限額：年間2万円/人）									

予算科目	款	05 労働費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部																					
	項	01 労働諸費	5,770千円		5,770千円	0千円	100.0 %																							
	目	01 労働諸費					(参考)当初予算額	課	商工振興課																					
	事業	02 中小企業緊急雇用調整助成事業					20,000千円																							
基本計画		01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主 な 財 源	繰入金 新型コロナウイルス感染症支え合い基金繰入金 5,000千円																									
目的		新型コロナウイルス感染症の影響により、事業活動の縮小を余儀なくされた事業者に対して、国の助成金と協調し、市独自の助成金を上乗せして交付することにより、事業者の経費負担の軽減、雇用の維持等、安定化を図る。																												
主要な事務・事業の概要	○中小企業緊急雇用調整助成金 5,770千円 新型コロナウイルス感染症の影響により事業活動の縮小を余儀なくされた市内中小企業者が、雇用する労働者に対して一時的に休業、教育訓練又は出向を行い雇用の維持を図った場合に、国からの雇用調整助成金、緊急雇用安定助成金に上乗せして助成。 なお、国の助成金の申請受付はR5年5月末まで（判定基礎期間はR5年3月末）だが、市の助成金の申請受付は期限を設けておらず、国の決定通知が届いてから「速やかに」としているため、令和4年度までに国の交付決定を受けた事業者について助成。 ・交付件数：60件（企業数：23社） 【内訳】 <table><tr><td>雇用調整助成金（被保険者）</td><td>54件</td><td>5,724千円</td></tr><tr><td>緊急雇用安定助成金（被保険者以外）</td><td>6件</td><td>46千円</td></tr></table> ・助成額 国の助成金の「基準賃金額」から「国の1人日当たりの助成金額」を控除した額に、「月間休業等延日数」を乗じた額 ※国と市を合わせた1人日当たりの助成額上限：国上限額の4分の5				雇用調整助成金（被保険者）	54件	5,724千円	緊急雇用安定助成金（被保険者以外）	6件	46千円	（参考） 国の雇用調整助成金、緊急雇用安定助成金（中小企業分） <table><tr><td></td><td>R4.3～9</td><td>R4.10～11</td><td>R4.12～R5.1</td><td>R5.2以降</td></tr><tr><td>助成率</td><td colspan="2">4/5（9/10）</td><td>2/3（9/10）</td><td>2/3</td></tr><tr><td>上限額</td><td>9,000円</td><td colspan="3">8,355円</td></tr></table> ※括弧書きの助成率は解雇等を行わない場合						R4.3～9	R4.10～11	R4.12～R5.1	R5.2以降	助成率	4/5（9/10）		2/3（9/10）	2/3	上限額	9,000円	8,355円		
					雇用調整助成金（被保険者）	54件	5,724千円																							
					緊急雇用安定助成金（被保険者以外）	6件	46千円																							
						R4.3～9	R4.10～11	R4.12～R5.1	R5.2以降																					
助成率	4/5（9/10）		2/3（9/10）	2/3																										
上限額	9,000円	8,355円																												
成果・課題					本制度はコロナの影響を受けて事業活動の縮小を余儀なくされた事業者への支援が目的であり、事業者の経費負担の軽減や雇用の維持等に繋がる支援を行った。																									

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部		
	項	01 商工費	5,502千円		5,697千円	195千円	96.5 %				
	目	01 商工総務費					(参考)当初予算額	課	商工振興課		
	事業	50 商工総務一般経費					6,446千円				
基本計画		01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源							
目的	商工行政を推進するために必要な一般経費及び公用車の維持管理費										
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費		2,786千円		○公用車管理費（商工観光部管理台数：8台）					2,038千円	
	・報酬		1,925千円		・燃料費					922千円	
	・期末手当		381千円		・修繕料					788千円	
	・共済費		372千円		・手数料（自動車登録手数料等）					62千円	
	・費用弁償費		108千円		・保険料（自賠責、任意保険料）					181千円	
	※育休代替1人（4月～3月）				・テレビ受信料					14千円	
					・自動車重量税					71千円	
	○旅費		560千円								
	・中小企業庁派遣職員研修旅費										
	○消耗品費等（事務用品等）		118千円								
				成果・課題		公用車のメンテナンスや点検などを的確に行うことで、職員が業務に支障なく取り組めた。					

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	77,722千円		79,443千円	1,721千円	97.8 %		
	目	02 商工振興費					(参考)当初予算額	課	商工振興課
	事業	01 商工会助成事業					79,750千円		
基本計画		01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源					
目的	京丹後市商工会が実施する小規模事業者のニーズに対応した経営指導及び相談対応事業、地域産業を総合的に振興する事業、織物指導等小規模生産基盤整備事業、地域産業活性化のためのイベント開催や商店街の環境整備事業に対して支援を行い、本市商工業の総合的な振興・発展を図る。								
主要な事務・事業の概要	○小規模事業経営支援事業費補助金 67,315千円				○地域活性化事業補助金 2,000千円				
	経営相談、金融斡旋、巡回指導及び小売商業振興事業など地域に密着した活動や事業を支援				地域の活性化イベントである「京丹後商工祭」の開催を支援				
	・ 経営改善普及指導事業分 63,500千円				【総事業費】 7,186千円（補助対象経費：5,566千円）				
	経営改善普及事業指導職員による小規模事業者への経営指導・相談事業				【開催期間】 令和5年10月22日（日）				
・ 地域総合振興事業分 3,815千円				【開催場所】 丹後王国「食のみやこ」					
市場開拓、機械金属販路開拓、小売商業振興等				【事業内容】					
				・ 出展ブース数 54ブース（市内事業者、部会催事等）					
				・ ARクイズラリー＆スロット抽選					
○織物指導等小規模生産基盤整備事業費補助金 7,964千円				スマホを活用したクイズイベント参加者を対象に抽選会を実施（参加者：30人）					
丹後の織物技術を維持し製品の品質確保を図るため、延べ1,381件の織物技術指導と45件の小規模な生産基盤整備を支援				・ ちりめんロールの大試食会（参加人数：約400人）、アンケートの実施					
○商店街環境整備事業補助金 443千円				成果・課題	○商工会による小規模事業者への巡回指導や織物事業者への技術指導及び小規模生産基盤整備への支援を行い、事業者の経営安定化に寄与した。 ○商店街等の老朽街路灯の撤去を支援し、景観向上と安全確保に寄与した。 ○原材料等の高騰、円安などによる物価高、販路開拓や人材不足など、市内小規模事業者が各種経営課題に対応する当たり、伴走支援を行う商工会の役割は重要であり、引き続き支援が必要がある。				
景観の向上と通行の安全確保を図るため、商店街等の老朽化した街路灯（スズラン灯）の撤去を支援									
・ 善王寺地区：17本撤去									

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	45,057千円		45,057千円	0千円	100.0 %		
	目	02 商工振興費					(参考)当初予算額	課	商工振興課
	事業	02 丹後地域地場産業振興センター運営支援事業					45,057千円		
基本計画		01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源					
目的	公益財団法人丹後地域地場産業振興センターが行う施設の管理、丹後ブランド製品の販売、地場製品の販路拡大、新商品の開発支援、人材育成、情報の収集及び発信など地場産業の振興を図る各種事業を支援し、本市地場産業の総合的な振興を図る。								
主要な事務・事業の概要	○丹後地域地場産業振興センター運営費補助金 39,929千円				◆地場産品展示普及支援事業 地場産品の常設展示販売及びECサイト、ふるさと納税サイトでの販売（184事業者、約3,000品目、年間売上約73,173千円） ◆誘客販売事業 ・野村克也ベースボールギャラリーの運営事業 ・たんご朝市の開催（毎週日曜日） ・アミティ感謝祭（4月30日開催：来場者300人、11月5日開催：来場者350人）				
	【主な実施事業】 ◆新商品・新技術開発事業 高機能急速冷凍装置の活用による新サービス開発事業（延べ利用回数 161回、実利用事業者数 19事業者） ◆人材育成事業 食品品質向上セミナーの開催（17事業者18人参加） ◆需要開拓事業 ・Tango Good Goods認定及び販売促進事業 令和5年度認定数：39事業者、64商品 ・「Tango Good Goods見本市」の開催 10月21日～22日 宮津市民体育館 来場者数7,200人、出展者数者42者、商談件数29件 ・他地域の物産展、イベント等への出店 丹後のええもんうまいもん展・合同産直市（大阪府吹田市）等に67回出展し、延べ118事業者が参加				○丹後地域地場産業振興センター大規模改修補助金 5,128千円 ・トイレ改修工事（1階男子・女子・多目的）				
				成果・課題	○新型コロナウイルス感染症の影響が一定緩和したことにより、イベント数や来客者数が回復し、事業者の積極的な出展を支援することで、改めて丹後の産品の魅力をアピールすることができた。 ○施設の老朽化が進んでいるため、優先順位を定め、計画的な施設修繕を支援していく必要がある。				

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部																					
	項	01 商工費	49,543千円		49,811千円	268千円	99.4 %																							
	目	02 商工振興費					(参考)当初予算額	76,702千円																						
	事業	03 金融支援事業																												
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主 な 財 源	繰入金 新型コロナウイルス感染症支え合い基金繰入金 13,000千円																										
目的	市内商工業者の運転資金や設備資金の借入に係る信用保証料及び利子に対して補助を行うことにより、資金調達の円滑化と借入に係る負担の軽減を図り、市内中小企業者の経営の安定化と成長の促進を図る。																													
主要な事務・事業の概要	○信用保証料補助金 33,341千円		○新型コロナウイルス感染症対策利子補給金 14,023千円																											
	京都府中小企業融資制度又は京丹後市商工業振興融資制度を利用して借入れる際に支払った保証料を1事業者40万円を限度に交付 ※特例として「伴走支援型経営改善おうえん資金」の借入の場合は別枠で補助率100%、1事業者当たり40万円を上限に交付		市内商工業者が活用した京都府、京丹後市及び政府系金融機関の制度融資（令和2年1月29日以降の借入）に係る利子に対し、初回利子支払い月から36月目までは借入利率の0.46%分を、37月目からは借入利率の0.23%分を1事業者当たり100万円を限度に交付																											
	<table><tr><td>業種</td><td>建設業</td><td>製造業</td><td>卸売・小売業</td><td>飲食店 宿泊業</td><td>その他</td><td>合計</td></tr><tr><td>件数（件）</td><td>11</td><td>25</td><td>24</td><td>27</td><td>33</td><td>120</td></tr><tr><td>交付額（千円）</td><td>2,761</td><td>7,773</td><td>5,749</td><td>7,535</td><td>9,523</td><td>33,341</td></tr></table>		業種	建設業	製造業	卸売・小売業	飲食店 宿泊業	その他	合計	件数（件）	11	25	24	27	33	120	交付額（千円）	2,761	7,773	5,749	7,535	9,523	33,341	<table><tr><td>交付件数</td><td>228件</td></tr></table>					交付件数	228件
	業種	建設業	製造業	卸売・小売業	飲食店 宿泊業	その他	合計																							
	件数（件）	11	25	24	27	33	120																							
交付額（千円）	2,761	7,773	5,749	7,535	9,523	33,341																								
交付件数	228件																													
○経営力向上企業支援利子補給金 152千円		○無利子・無担保融資対応利子補給金 2,027千円																												
市内商工業者が経営力向上計画の認定を受け、市内民間金融機関又は政府系金融機関から設備資金の融資を受けた場合にその利子について、借入利率のうち0.1%分を1事業者当たり年度内20万円を限度に交付		市内商工業者が活用した京都府、京丹後市及び政府系金融機関の制度融資について、無利子期間（国による利子補給期間）が終了した後の利子に対し、初回利子支払月から36月目までの借入利率の0.23%分を1事業者当たり100万円を限度に交付																												
<table><tr><td>交付件数</td><td>12件</td></tr></table>		交付件数	12件	<table><tr><td>交付件数</td><td>163件</td></tr></table>					交付件数	163件																				
交付件数	12件																													
交付件数	163件																													
成果・課題	○資金借入に伴う信用保証料や利子の負担を軽減することにより、事業者の経営の安定化と成長の促進に資することができた。 ○信用保証料について、特定の制度融資に対し補助上限を拡充することで、事業好転の契機となる前向きな取組に対する支援ができた。 ○無利子・無担保融資対応利子補給金により、有利子による返済が開始となる事業者を支援した。 ○国際情勢の影響等により地域中小企業を取り巻く状況は厳しく、引き続き信用保証料補助や利子補給を実施する必要がある。																													

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部				
	項	01 商工費	28,882千円		28,882千円	0千円	100.0 %						
	目	02 商工振興費					(参考)当初予算額	課	商工振興課				
	事業	04 商工業支援事業					20,550千円						
基本計画		01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源	国補	デジタル田園都市国家構想交付金（1/2）			275千円				
目的	新商品の開発、販路開拓、知的財産権取得、SDGsの取組、企業連携による開発、織物業や機械金属等製造・加工業における経営力向上のための設備投資など市内事業者の新たな取組への支援を行い、地域経済の活性化を図る。				府補	きょうと地域連携交付金（商工業積極展開支援事業）			1,500千円				
					府補	新しい商店街づくり総合支援事業補助金（1/2）			484千円				
主要な事務・事業の概要	○事業者×跡継ぎマッチング事業				550千円				○商工業支援補助金		3,290千円		
	商工会、京都産業21と連携し、市内の事業継承ニーズを掘り起こすとともに、継業人材の募集及びマッチングを実施								中小企業等が行う販路開拓などの取組を支援				
	・クラウドサービス利用料				550千円								
	【継業バンク内訳】												
	登録事業者		2件		後継ぎ募集2件				事業		件数	交付額	
	問い合わせ		29件						ブランド戦略PR事業（新商品・新製品開発事業）		2件	394千円	
									ブランド戦略PR事業（国内外販路開拓促進事業）		6件	1,743千円	
									知的財産権取得支援事業		2件	153千円	
									企業連携開発事業		1件	1,000千円	
	○製造・加工業経営革新等推進事業補助金				23,865千円				○新しい商店街づくり総合支援事業費補助金				1,177千円
織物業及び機械金属業等の製造・加工事業者が行う生産設備の新增設や更新等、経営力向上のための設備投資に対し補助								金刀比羅商店街の老朽化した街路灯（9基）の改修					
内訳		織物業		23件		10,864千円		成果・課題		○継業バンクにおける跡継ぎマッチングでは、新たに2件の後継募集を開始したが、更なる事業継承ニーズの掘り起こし及び関係機関との連携によるマッチング支援が必要。 ○中小企業が行う生産性向上のための設備投資や新商品開発等、地域商店会が行う環境整備など、企業・団体等による積極的な取組を支援し、地域経済の活性化を図った。 ○人材不足や資材高騰など中小企業を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にあり、中小企業による新たな挑戦や生産性向上のための支援が必要。			
		機械金属業等		8件		13,001千円							

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	5,924千円		5,925千円	1千円	99.9 %		
	目	02 商工振興費					(参考)当初予算額	課	商工振興課
	事業	05 地域経済循環促進事業					5,925千円		
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源	国補 デジ 刈田園都市国家構想交付金（1/2） 2,962千円					
目的	市内登録店舗で利用できる買物デジタルポイントの運用を支援することにより、地域内での経済循環を高めるとともに、本システムを活用して本市のキャッシュレス化を促進する。								
主要な事務・事業の概要	○京丹後デジタルポイント運営事業補助金 5,924千円 京丹後デジタルポイント運営協議会が実施する事業に係る費用を補助 ◆協議会総事業費 5,924千円 ・システム保守運用経費 1,538千円 （アプリサーバー年間利用料 月額880円×1,748月分） ・事務局運営費（人件費・車両借上料等） 3,386千円 ・チャージ機能追加に伴うキャッシュレス促進費 1,000千円 ※加盟店舗数：146店舗（令和6年3月31日現在）				成果・課題	○チャージ機能を追加したことにより、域内のキャッシュレス化が促進された。 ○商工祭をはじめとする各イベントに出展し、利用者への制度周知ができた。 ○京丹後デジタルポイントの利用を促進し域内循環を強化するため、加盟店・利用者数の増加に向けた取組などに対する支援が必要である。			

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部	
	項	01 商工費	15,349千円		15,350千円	1千円	99.9 %			
	目	02 商工振興費					(参考)当初予算額	課	商工振興課	
	事業	06 自然あふれるビジネスモデル推進事業					17,016千円			
基本計画		01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		府補	きょうと地域連携交付金（テレワーク推進事業）				3,900千円	
目的	テレワーク推進戦略に基づき、市内事業者で構成するコンソーシアムを中心に持続可能なビジネスモデルの構築を目指した事業推進やテレワーク環境の整備等を支援することにより、都市部企業・人材の誘致や、交流人口・関係人口の拡大を図り、将来的な定住人口の増加を目指す。				主な財源					
主要な事務・事業の概要	○テレワーク戦略実践会議				4千円	○ふるさとテレワーク環境整備支援補助金				500千円
	自然あふれるビジネスモデル事業の検証と進捗管理のため、商工関連団体、観光関連団体等で構成する委員会を2回開催					民間事業者が実施したWi-Fi整備等施設改修費用に対して補助金を交付				
	・委員謝金、費用弁償（1人）				4千円	・テレワーク環境整備事業				
						交付件数：1件、補助率：1/2以内、上限500千円				
主要な事務・事業の概要	○コーディネート業務委託料				14,795千円	○職員旅費（岡山県西栗倉村、1回、2人）				50千円
	（契約期間：令和3年9月1日～令和8年3月31日）									
	ワーケーション、企業向け研修プログラムの企画運営、都市部プロモーション業務及び企業・人材等の誘致活動、コンソーシアム運営業務等									
	◆テレワーク、ワーケーションプログラムの開発・実施									
主要な事務・事業の概要	9プログラム造成、参加企業29社、参加者95人									
	◆企業研修プログラムの開発・実施									
	3プログラム造成、参加企業3社、参加者43人									
	◆プロモーション活動									
都市部企業へ向けたサテライトオフィス誘致のため、イベント等の開催やマッチングイベントへ参加										
成果・課題										

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部		
	項	01 商工費	44,486千円		44,504千円	18千円	99.9 %				
	目	02 商工振興費					(参考)当初予算額	課	商工振興課		
	事業	08 機械金属業振興事業					41,213千円				
基本計画		01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源	国補	デジタル田園都市国家構想交付金（1/2）			2,500千円		
					国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金			39,200千円		
目的		機械金属関連事業者の販路開拓、新分野のビジネス展開など、丹後機械工業協同組合の活動を支援するとともに、資材高騰の影響を受け厳しい経営状況を強いられている市内機械金属事業者の活動を支援することで、基幹産業である機械金属業界全体の成長・発展を図る。									
主要な事務・事業の概要	○機械金属業販路開拓等事業費補助金		5,000千円		○機械金属業物価高騰対策支援給付金					39,291千円	
	【実施主体】丹後機械工業協同組合				物価高騰対策として、製造工程で必要となる工具類等の購入に係る費用の一部を補助						
	【補助率】 2/3以内				【受付期間】 令和5年8月～令和6年3月						
		【実施内容】				【対象者】 日本標準産業分類に掲げる中分類18プラスチック製品製造業、中分類22鉄鋼業から31輸送用機械器具製造業に属する市内事業者					
		◆新分野・ビジネス開拓推進事業				【対象経費】 製造工程で必要となる工具等の購入に係る費用					
		・第26回関西機械要素技術展（大阪・10月）14社出展				【対象期間】 令和5年4月～令和5年12月					
		・高精度・難加工技術展2023（東京・11月）3社出展				【給付率等】 2/3以内（上限50万円）					
		・メッセナゴヤ2023（名古屋・11月）5社出展				【交付件数】 95件					
		・京都ビジネス交流フェア2024（京都・2月）11社出展									
		○展示商談会への職員参加経費		195千円							
		職員旅費、有料道路通行料、駐車場使用料									
						成果・課題	○展示会への出展を支援することにより、産地ブランドのPR及び本市機械金属産業の事業分野の拡大を図ることができた。 ○更なる業界の成長・発展を図るため、新規顧客の獲得や成長産業分野への進出を支援していく必要がある。 ○製造工程において必ず使用する工具類について支援をすることで、負担軽減と経営の安定化を図ることができた。				

予算科目目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	6,407千円		6,500千円	93千円	98.5 %		
	目	02 商工振興費					(参考)当初予算額	課	商工振興課
	事業	09 人材育成事業					6,500千円		
基本計画		01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源					
目的	「丹後・知恵のものづくりパーク」（北部産業活性化拠点・京丹後）の研修事業の実施及び施設の管理運営に必要な経費の一部を負担することにより、事業の円滑な実施と適切な施設運営を促す。								
主要な事務・事業の概要	○「丹後・知恵のものづくりパーク」管理運営・人材育成研修事業								
	・施設等管理運営負担金 5,907千円								
・研修事業負担金 500千円									
人材育成研修事業に係る負担金									
新しいシゴトを発想するためのセミナー開催									
(2回開催 延べ受講者数：9人)									

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	231千円		232千円	1千円	99.5 %		
	目	02 商工振興費					(参考)当初予算額	課	商工振興課
	事業	10 近未来技術地域導入促進事業					1,681千円		
基本計画		01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源					
目的	先端技術を活用した事業活動を支援するため、市内事業者、市内関係団体等による京丹後DXを推進し、ICT技術を用いた近未来時代に対応した事業活動や市民活動を促進する。 また、業界団体が連携して新たな組織を開発する事業を支援する。								
主要な事務・事業の概要	○中小企業者向けDX啓発セミナー開催経費		97千円						
	未利用、未活用の資源に付加価値をつけた循環経済の考え方や事例、近未来技術を活用した循環サイクル達成に向けた解決策についての講演会を開催								
	開催日： 令和6年3月18日								
	場 所： 京丹後市役所								
	参加者： 30人（うち事業者：11人、関係機関：19人）								
	・講師謝金		50千円						
	・費用弁償		47千円						
○職員旅費		116千円							
DXセミナー開催に向けた協議や組織開発に関する協議のための出張旅費									
○有料道路通行料		18千円							
					成果・課題	○セミナーの開催により、事業者及び関係機関等に循環経済や近未来技術について興味・関心を持ってもらうことができた。 ○新たな組織の開発に向け、繊維機械の専門家と連携を図ることができた。 ○事業者のDX化や新たな組織の開発については、関係機関と連携し検討する必要がある。			

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	4,386千円		4,396千円	10千円	99.7 %		
	目	02 商工振興費					(参考)当初予算額	課	商工振興課
	事業	12 大阪・関西万博連携事業					5,084千円		
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源	国補 デジタル田園都市国家構想交付金（1/2）1,846千円					
目的	2025年大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」の実現とSDGsの達成の趣旨に賛同し、ものづくりや豊かな自然環境を活かした本市ならではの万博への参画に向け取組を進める。								
主要な事務・事業の概要	○京丹後市ロードマップ検討会及び大阪・関西万博推進協議会の開催 444千円 本市の強みである健康長寿、自然、歴史、文化、産業等の資源を大阪・関西万博を契機に見つめ直し、発展に繋げるロードマップを策定するとともに、具体的な取組を推進する民間主導の協議会を設立 ・アドバイザー謝金（延べ12人・会議数5回） 168千円 ・委員謝金（延べ50人・会議数5回） 276千円 ○オープンファクトリー環境整備支援補助金 1,991千円 オープンファクトリーイベントをオープン型展示商談会と捉え、ビジネスマッチング、異業種連携、観光誘客を目指すため、工場の改修費用やサイン・看板等の設置、説明用資料（パンフレットや動画など）作成等を支援 【交付件数】4件 【補助率】対象経費の2分の1以内（上限額：500千円） 【主な補助対象事業】・工場内見学用通路の整備 ・オープンファクトリー実施の屋外看板・サインの設置 ・動画の作成、モニター等の設置 等				○オープンファクトリー実施事業者育成業務 1,700千円 大阪・関西万博に向けて、市内モノづくり事業者による満足度の高いオープンファクトリーが地域一体で実施されるようプログラム内容等の充実を図るためオープンファクトリー実施事業者の養成プログラムを実施 【実施内容】ワークショップ、トークセッション等 【参加企業】19社（機械金属、織物、酒造、サービス業等） ○講師謝金 50千円 大阪・関西万博の機運醸成及び万博を契機とした本市経済の活性化を図るため、関西経済連合会の関専務理事を迎え、万博に関する同連合会の取組状況を紹介いただくとともに、業界団体等との意見交換会を実施 ・開催日：令和5年8月24日 ・場 所：KISSUIEN Stay&Food ・参加者：35人				
					○その他経費 201千円 職員旅費、駐車場使用料、有料道路通行料				
	成果・課題	○ロードマップの策定により本市の取組内容を整理するとともに、万博推進協議会を設立することで、本市における取組の推進体制を整えた。 ○オープンファクトリーの実施に向けたハード面の環境整備に加え、実施事業者を養成するソフト面の環境整備を推進した。 ○ロードマップに沿って、万博に向けての一層の機運醸成を図るとともに、市民や関係団体等とともに取組の推進を図る必要がある。 ○オープンファクトリーにおいて、事業者間の周遊をコーディネートする人材の育成が必要である。							

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	35,406千円		35,415千円	9千円	99.9 %		
	目	02 商工振興費					(参考)当初予算額	課	商工振興課
	事業	14 地域消費喚起事業					11,053千円		
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源	国補 新型ｺﾛﾅｲﾙｽ感染症対応地方創生臨時交付金 30,000千円					
目的	京丹後デジタルポイントへ現金チャージ機能を付加することにより、市内における消費喚起とキャッシュレス化を促進する。								
主要な事務・事業の概要	○京丹後デジタルポイント協議会への補助金 34,594千円 ◆キャッシュレス推進ポイント発行事業 4,416千円 付与上限： 1人当たり5,000ポイント 付与期間： 令和5年6月1日から令和6年2月29日までのチャージ分 利用期限： 令和6年3月31日 発行数： 4,854,135ポイント 利用数： 4,415,770ポイント（利用率91%） ◆健康増進ポイント発行事業 124千円 「Let`s チャレンジウォーキング」で歩いた歩数に応じてポイント付与 付与上限： 1人当たり500ポイント（10,000歩毎に50ポイント） 付与人数： 285人（ウォーキング参加者：389人） 対象期間： 令和5年10月1日から令和5年11月30日 利用期限： 令和6年3月31日 発行数： 136,513ポイント 利用数： 124,185ポイント（利用率91%） ◆買物支援ポイント発行事業 29,964千円 ・システム改修費 2,145千円 通常ポイントと買い物支援ポイントを並行して付与するための機能を追加		・買物支援ポイントを世帯主カードに付与 27,819千円 付与人数： 51,184人 利用期間： 令和5年9月29日～令和6年3月17日 発行数： 51,184,000ポイント 利用数： 27,818,884ポイント（利用率54%） ◆デジタルポイント在り方検討会開催経費 90千円 アドバイザー1人及び委員1人への謝金（3回開催） 構成：デジタルポイント運営協議会（商工会、京都北都信用金庫、市） 検討委員（エムズカード会、観光公社、アドバイザー（弁護士）） ○デジタルポイントカード購入等消耗品 428千円 ○ポイント発行事業周知チラシ作成・新聞折込 384千円						
	成果・課題	○買い物支援ポイント及び健康増進ポイントの発行により、消費喚起及び生活支援を図った。 ○チャージ機能を追加することで、キャッシュレス決済の普及を図った。 ○引続き国内及び市内の景況を注視し、状況に応じて消費喚起策を検討する必要がある。							

予算科目目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部	
	項	01 商工費	19,872千円		19,954千円	82千円	99.5 %			
	目	02 商工振興費					(参考)当初予算額	課	商工振興課	
	事業	15 企業立地推進事業					20,500千円			
基本計画		01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		府補	きょうと地域連携交付金（企業立地支援事業）				9,700千円	
目的	市内の事業用地及び企業立地支援制度を広く周知し、企業等の立地を促進するとともに、基準を満たした事業所の新增設や従業員の移住を伴う本社機能の移転を支援することで、雇用の創出・拡大及び地域産業への経済波及効果の創出を図る。				主な財源					
主要な事務・事業の概要	○企業立地支援事業（市民の新規正規雇用者数25人）				19,459千円	○企業立地促進事業				413千円
	・企業立地助成金				3,000千円	・企業情報検索システム使用料				42千円
	一定規模以上の投資を行い市民正規雇用者数を3人（中小企業は2人）以上増加させた「指定事業所」に対して、同雇用者数1人当たり100万円を限度として設備投資経費や人件費に充当できる助成金を交付					・旅費（企業誘致活動）				275千円
	対象指定事業所：1社					・駐車場使用料・有料道路通行料				16千円
	・企業立地奨励金				16,459千円	・京都市府町村企業誘致推進連絡会議負担金				80千円
	「指定事業所」に対し、新增設された事業所の投下固定資産（土地・建物・償却資産）に対し課税された固定資産税相当額を限度に奨励金を交付					（京都府用地バンクの運営、展示会のブース出展、企業誘致説明会開催など）				
	対象指定事業所：7社									
						成果・課題	○指定事業所に企業立地助成金・奨励金を交付することにより、市内における事業所の新設及び増設を促進するとともに、雇用の拡大と経営の安定化を図った。 ○引き続き、企業立地助成金や奨励金をはじめとする有利な制度のPRを行い、企業立地を推進するとともに、京丹後市新経済戦略推進会議などにおいてさらに効果的な企業立地施策を検討する必要がある。			

予算科目目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部	
	項	01 商工費	17,274千円		17,405千円	131千円	99.2 %			
	目	02 商工振興費					(参考)当初予算額	課	商工振興課	
	事業	17 創業支援事業					14,838千円			
基本計画		01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源	国補	デジタル田園都市国家構想交付金（1/2）			1,549千円	
目的		「目指せ令和の松本重太郎翁」を掲げ、全国の高校生及び若手起業家から本市の地域資源を活用したビジネスアイデアを募集することにより、人材を発掘し、本市での起業を促進するとともに、市内企業等とのマッチングを図る。 また、新規創業者や市内の空き店舗・空き工場等を活用した新たな取組への支援を行い、地域経済の活性化を図る。			府補	きょうと地域連携交付金（商工業等積極展開支援事業）			5,470千円	
主要な事務・事業の概要	OICT×地方創生甲子園		1,805千円		O松本重太郎ギャラリー管理運営経費					231千円
	全国の高校生を対象に、本市の地域資源を活用した新たなビジネスアイデアを募集。28チームのエントリーがあり、最終9チームがコンテストに出場（令和6年2月3日開催）				松本重太郎ギャラリーへの来館者に、経歴や功績等を更に知っていただくための紹介動画を作成					
	・コンテスト企画運営委託料		1,705千円		・動画（紙芝居映像）制作					
	・グランプリ賞金（みらいのジュエタロー賞）		100千円		・来館者：192人（令和4年度は196人）					
	O京丹後発！JAPAN CHALLENGER AWARD2023		1,620千円		Oスタートアップ支援事業委託料					2,603千円
	地域の課題を解決するためのビジネスアイデアを全国から募集。7人の地域起業家がコンテストに出場（令和5年11月16日開催）				総務省「地域力創造アドバイザー制度」を活用して外部専門家を招へいし、市内創業者の事業展開や資金調達等の支援を実施					
	・コンテスト企画運営委託料		1,320千円		【対象】市内10事業者					
	・グランプリ賞金（松本重太郎賞）		300千円		【内容】全43回（現地指導18回、オンライン指導25回）					
	O起業支援委託料		74千円		成果・課題					OICT×地方創生甲子園等を開催し、起業家の発掘から育成、創業までを支援するとともに、市内の創業しようとする人材や創業に繋がるアイデアの発掘、創業機運の醸成を促進した。 O松本重太郎ギャラリーについては、京丹後市外からの来館者が約7割を占めており、徐々に市外への認知を広めることができているが、さらなる認知度向上のPRが必要。
	「京丹後発！JAPAN CHALLENGER AWARD」「ICT×地方創生甲子園」出場者に対し、事業の進捗に応じた助言や活用可能な制度に関するアドバイスを行うなど、創業前後のフォローアップを実施									
O創業等支援補助金		10,941千円								
内訳	中小企業者等が行う創業や空き店舗の活用に関する取組を支援									
	・補助率：4分の1以内（上限額：100万円）									
	創業支援事業（創業時）	8件	6,560千円							
	空き店舗・空き工場等の活用促進事業（開業時）	5件	4,381千円							

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	198千円		272千円	74千円	72.7 %		
	目	02 商工振興費					(参考)当初予算額	課	商工振興課
	事業	50 商工振興一般経費					272千円		
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源						
目的	地域経済・産業の振興、活性化を図るための活動等に必要な経費								
主要な事務・事業の概要	○職員旅費、有料道路通行料、駐車場使用料		181千円						
	○消耗品費（新聞購読料）		17千円						
					成果・課題	商工振興に関する事務事業等を円滑に行うことができた。			

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	2,970千円		2,971千円	1千円	99.9 %		
	目	03 繊維産業振興費					(参考)当初予算額	課	商工振興課
	事業	01 産地振興事業					3,751千円		
基本計画		01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源	国補 デジタル田園都市国家構想交付金（1/2） 1,007千円				
目的	織物事業者の販路開拓、人材育成、技術継承など、丹後織物工業組合の活動を支援するとともに、全国の自治体との連携による和装産業・シルク産業の振興並びに産学連携による繊維製品の開発及び市場開拓を図る。								
主要な事務・事業の概要	○丹後織物産地振興事業費補助金 1,224千円 産地の稼ぐ力の拡大、産地を支える人材育成に資するため、丹後織物工業組合が実施するTANGO OPEN CENTER事業を、京都府及び与謝野町と協調して支援 【総事業費】7,200千円 【負担割合】京都府 50%、丹後織物工業組合：25% 京丹後市 17%、与謝野町：8%		○産学連携アップサイクル事業 790千円 女子美術大学が市内織物事業者と連携して、ちりめんの端材を利活用した商品開発に取り組み、制作した作品を展示会に出品 ・委託料（展示商談会出展料、展示備品什器等） 580千円 ・費用弁償（女子美術大学指導者及び学生交通費） 210千円 ○丹後ちりめん祭り補助金 200千円 【開催日】11月3日・4日 【総事業費】983千円 【場所】アミティ丹後、丹後織物工業組合 【来場者数】約700人 ○タンゴオープンヴィレッジ構想基本計画支援補助金 500千円 丹後織物工業組合が掲げるタンゴオープンヴィレッジ構想をより具体化し円滑に進めることを目的とした基本計画の作成を支援 【総事業費】1,010千円 【主な事業】基本計画作成のための先進地視察、施設アスベスト調査						
	○全国和装産地市町村協議会（会員数：15市町） 76千円 ・負担金 10千円 「日本のそめおり展」への出品（7/14～8/20：京都市） ・職員旅費、有料道路通行料 66千円 総会、視察研修（11/9～11/11：新潟県十日町市）		○成果・課題 ○丹後織物工業組合による織物求評会の開催等販路開拓の取組や、ワークショップで使用する体験型商材等新商品開発の取組等を支援した。 ○伝統あるちりめん祭りの2日間開催を支援し、織物産業の振興を図ることができた。 ○「稼ぐ産地」を目指すために、タンゴオープンヴィレッジ構想に基づく事業などの新分野展開や販路開拓等の取組を引き続き支援するとともに、後継者や人材の育成・確保、部品等の調達の難化などの課題に対する支援を検討していく必要がある。						
	○シルクのまちづくり市区町村協議会（32市区町村） 32千円 ・職員旅費、有料道路通行料 総会、視察研修（10/13～14：滋賀県長浜市）								
	○森田翁顕彰会負担金 50千円 森田翁慰霊祭の開催（11/2） ○職員旅費、有料道路通行料 98千円								

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	20,967千円		21,140千円	173千円	99.1 %		
	目	03 繊維産業振興費					(参考)当初予算額	課	商工振興課
	事業	02 新シルク産業創造事業					21,647千円		
基本計画		01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興	主な財源	国補	デザイン 外 田園都市国家構想交付金（1/2）				9,861千円
				寄附金	ふるさと応援寄附金				400千円
目的	京都工芸繊維大学との連携の下、取り組んできた新シルク産業創造に向けた基礎研究の成果を事業化へと繋げるため、京丹後市新シルク産業創造館の運営を行う。								
主要な事務・事業の概要	○新シルク産業創造事業運営経費 20,496千円 新シルク産業創造館において、本市が京都工芸繊維大学との連携の下取り組んできた研究の成果を活用し、新たな産業の創出に向けたビジネスモデルの構築を目指すこと及び当施設、設備の維持管理に関する業務を委託により実施 ・新シルク産業創造事業業務委託料 16,300千円 （期間：令和3年8月1日～令和8年3月31日） ・クリーンルーム加湿器定期修繕 3,421千円 内部環境制御機器取替等（機能回復） 2,662千円 定期メンテナンス 759千円 ・新シルク産業創造館施設保守管理（通年） 775千円 施設機械警備業務委託料 79千円 電気設備保安全管理業務委託料 359千円 消防設備保守点検業務委託料 50千円 通信費（機械警備システム用） 72千円 火災保険料 34千円 消防設備修繕料 181千円				○新シルク産業創造事業アドバイザー謝金（2人） 100千円 ○職員旅費 5千円 ○公用車運行管理費（2台分） 328千円 ・公用車燃料費 106千円 ・公用車関連経費（車検費用等その他） 215千円 ・テレビ受信料 7千円 ○その他経費 38千円 ・消耗品費、有料道路通行料				
					成果・課題	○これまでの研究成果を活用し、年間掃立て目標頭数24万頭を達成した。 ○新シルク産業創造館の繭を原料とした生糸を用い、市内事業者による生地の製造を試験的に行ったほか、医療や工業などの分野への活用に向けてメーカー等との協議が進められた。 ○近年、飼料価格が高騰していることから、コスト削減のための独自人工飼料の開発が必要。 ○地域産業の基盤強化や成長促進など、市内産業への更なる波及に向けた取組について検討する必要がある。			

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部												
	項	01 商工費	5,959千円		6,738千円	779千円	88.4 %														
	目	04 商工施設費					(参考)当初予算額	課	商工振興課												
	事業	01 峰山織物センター管理運営事業					6,487千円														
基本計画		01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興	主な財源	使用料	公有財産使用料				138千円												
				使用料	峰山織物センター使用料				60千円												
目的		峰山織物センターを管理運営し、広く市民の利用に供することで、織物業の振興及び住民の福祉増進を図る。																			
主要な事務・事業の概要	○峰山織物センター運営管理経費		5,959千円		【延べ利用人数】 4,404人（延べ利用件数：453件）																
	・日直代行業務委託料		660千円		・利用目的別利用件数																
	・燃料、光熱水費（ガス代、灯油代、電気代、水道料）		1,005千円		<table><tr><td>会議</td><td>研修</td><td>教室</td><td>サークル活動</td><td>スポーツ・レクリエーション</td><td>合計</td></tr><tr><td>46件</td><td>0件</td><td>141件</td><td>253件</td><td>13件</td><td>453件</td></tr></table>					会議	研修	教室	サークル活動	スポーツ・レクリエーション	合計	46件	0件	141件	253件	13件	453件
	会議	研修	教室	サークル活動	スポーツ・レクリエーション	合計															
	46件	0件	141件	253件	13件	453件															
	・施設警備委託料		45千円																		
	・駐車場用地借上料		306千円																		
	・維持管理消耗品、修繕料		495千円																		
	・消防設備・防火対象物点検業務委託料		42千円																		
	・庭木剪定委託料		257千円																		
・通信運搬費（電話使用料）		48千円																			
・その他維持管理経費（火災保険料、テレビ受信料等）		70千円																			
・工事請負費（大会議室エアコン取替）		1,166千円																			
・工事設計委託料（西側トイレ改修）		1,764千円																			
・漏水調査・排水管調査手数料		101千円																			

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	6,983千円		7,036千円	53千円	99.2 %		
	目	04 商工施設費					(参考)当初予算額	課	商工振興課
	事業	02 商工等指定管理施設運営事業					7,466千円		
基本計画		01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源	使用料	公有財産使用料			44千円
目的	大宮織物ホール、弥栄機業センターの維持管理及び運営を指定管理者に委託し、施設の有効活用と施設利用者の利便性の向上を図る。				諸収入	大宮織物ホール電気料			220千円
					諸収入	弥栄機業センター火災保険料負担金			1千円
					諸収入	大宮織物ホール光熱水費負担金			77千円
主要な事務・事業の概要	○大宮織物ホール指定管理委託料（委託先：市商工会）			3,270千円	（参考）延べ利用人数 ・大宮織物ホール 2,564人 ・弥栄機業センター 3,057人				
	○大宮織物ホール土地借上料（2,369㎡）			1,225千円					
	○大宮織物ホール備品購入費（消火器（9本）取替）			68千円					
	○弥栄機業センター指定管理委託料（委託先：市商工会）			108千円					
	○火災保険料 （大宮織物ホール、弥栄機業センター、食品加工支援センター）			42千円					
	○工事請負費（大宮織物ホール・弥栄機業センター）			1,951千円	成果・課題	○市内商工関連公共用施設の管理運営を指定管理者として京丹後市商工会が行うことで、施設利用者の各種活動の推進に寄与した。 ○施設の老朽化が進んでおり、引き続き、計画的に修繕等を行っていく必要がある。			
	大宮織物ホール：屋上等雨漏り修繕工事、キュービクル内機器更新工事			1,005千円					
	弥栄機業センター：雨漏り修繕工事			946千円					
	○修繕料（大宮織物ホール和室雨漏り修繕）			319千円					

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部	
	項	01 商工費	3,153千円		3,178千円	25千円	99.2 %			
	目	04 商工施設費					(参考)当初予算額	課	商工振興課	
	事業	50 商工施設一般経費					3,228千円			
基本計画		01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源	諸収入	旧丹後商業活性化センター火災保険料負担金			62千円	
					諸収入	旧三津小火災保険料負担金			32千円	
					諸収入	弥栄機業センター光熱水費負担金			6千円	
目的		商工業の振興に関わる施設の維持管理を行う。								
主要な事務・事業の概要	○京都工芸繊維大学京丹後キャンパス		963千円		○旧三津小学校					1,244千円
	・エアコン取替工事		149千円		・除草作業委託料					133千円
	・過電流継電器更新工事		176千円		・グラウンド法面伐採委託料					759千円
	・樹木伐採委託料		638千円		・火災保険料					33千円
	○旧丹後商業活性化センター		880千円		・修繕料					286千円
	・公衆トイレ管理委託料（委託先：間人区）		483千円		・漏水調査手数料					33千円
	・土間コンクリート修繕工事		280千円		○あしぎぬ苑					56千円
・火災保険料		62千円		・管理委託料（委託先：鳥取老人会）					52千円	
・雨樋取替工事		55千円		・水道使用料、開閉栓手数料					4千円	
○弥栄機業センター電気代等負担金		6千円								
○御旅市場商店街駐車場（旧小谷医院跡地）外灯電気代		4千円		成果・課題	○商工業、織物業の振興を目的とした商工関連施設を適切に管理することができた。 ○いずれの施設も老朽化が進んでおり、引き続き計画的に修繕等を行っていく必要がある。					

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部	
	項	01 商工費	10,484千円		10,517千円	33千円	99.6 %			
	目	05 観光振興費					(参考)当初予算額	課	観光振興課	
	事業	02 1次世界ジオパーク推進事業					11,038千円			
基本計画		04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	府補 ジオパーク推進事業補助金（1/2） 1,000千円					
					繰入金 地域振興基金繰入金 4,000千円					
目的	山陰海岸ユネスコ世界ジオパークの貴重な地質遺産を保護保全するとともに、教育や産業振興への活用を図る。 また、専門的な知識を有するガイドを養成し、山陰海岸ジオパークの様々な魅力を発信することで、ジオ・スポーツ、ジオ・アクティビティ等体験プログラムを活用した「ジオツーリズム」を推進する。									
主要な事務・事業の概要	○ジオパーク市情報センター（拠点施設）、ジオサイトの整備及び管理運営 5,819千円				○京丹後市ジオパーク最大活用会議 173千円					
	・拠点施設運営管理（道の駅てんきてんき丹後内） 4,060千円 （業務委託料、清掃用具借上料、電気代相当負担金）				4/21、8/23、3/14（網野保健センター2階）					
	・ジオサイト保全管理 1,759千円 （海岸清掃ゴミ回収、草刈委託2回）				・委員謝金、費用弁償（3人） 39千円 ・活動経費（リーフレット3,000枚、ポスター18枚作成） 134千円					
	○山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク普及啓発等 651千円				○ガイド養成講座開催（講師謝金2人分） 21千円					
	・パンフレット印刷（12,500部）、PR缶バッジ資材（8,000個）等				・11月8日、15日、22日、29日の4日間開催（参加者：6人）					
	○第13回日本ジオパーク全国大会in関東 参加経費 237千円 （開催時期：10月27日～29日 開催場所：千葉県銚子市）				○ガイド研修会開催（講師謝金なし）					
	・全国大会参加旅費（ガイド、職員分） 222千円				・3月21日、公認ガイド向けスキルアップ講座を開催（参加者：9人）					
	・全国大会参加負担金（3人分） 15千円				○山陰海岸ジオパーク推進協議会負担金 3,583千円					
	成果・課題					○ジオサイトの草刈りや海岸清掃を行い、ジオパークの保全活動につながった。 ○ガイド養成講座やスキルアップ講座の開催により、ジオパークの魅力を発信するガイド育成につながった。 ○ジオサイトを紹介するパンフレットを作成するなど、魅力発信を行い、令和6年度のユネスコ世界再審査に向けた他市町との一体的な取り組みを進めることができた。一方で、世界審査は4年毎に実施されるため、継続した取組が必要である。				

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	3,340千円		3,492千円	152千円	95.6 %		
	目	05 観光振興費					(参考)当初予算額		
	事業	03 滞在型観光地づくり推進事業					4,592千円	課	観光振興課
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進	主な財源	府補 ぎょうと地域連携交付金（滞在型観光地づくり推進事業）	1,200千円					
目的	まちの活性化及び交流人口の拡大に寄与する各種大会等（コンベンション、スポーツ大会、イベント等）を主催する団体に対し補助金を交付することにより、宿泊客等を誘致する。 また、友好都市である木津川市との交流事業、Tango寿ぐ旅（グリーンベルト）を実施し、通年滞在型観光地づくりを推進する。		諸収入 eバイク共同予約システム利用負担金	660千円					
主要な事務・事業の概要	○観光業等活性化推進事業補助金 1,440千円 交付件数：10件（400千円×2件、80千円×8件）、宿泊者数：3,275人 ※400千円：1,000～2,000人未満、80千円：100～500人未満				○滞在観光地づくり「プラス1」造成支援補助金 300千円 交付件数：3件（100千円×3件） 釣り体験ツアー、e-bikeレンタサイクルツアーの造成支援や京丹後libraryの設置による宿泊事業者のサービスの高付加価値化を支援				
	○木津川市・京丹後市交流事業協議会負担金 848千円 【構成団体】 木津川市、京丹後市、（一社）京丹後市観光公社 【事業概要】 平成20年に締結した「京丹後市と木津川市との間の友好都市連携に関する盟約書」に基づく、本市の旅館等における宿泊補助事業を実施 【実施事業】 友好都市京丹後へ行こう！フレンドシップキャンペーン ・対象者：木津川市民（405人泊） ・補助内容：令和5年4月1日～令和6年3月30日宿泊分 京丹後市内に宿泊 1泊につき1人上限2,000円				○全国道の駅連絡会会費 20千円 ○近畿道の駅連絡会会費 27千円 ○国民保養温泉地協議会負担金 45千円				
	○Tango寿（ことほ）ぐ旅（グリーンベルト） eバイク予約管理システム保守管理委託料 660千円 予約件数：4件、利用台数：13台				成果・課題 ○観光業等活性化推進事業補助金は延べ3,275人の宿泊誘致に寄与した。 ○木津川市とのフレンドシップキャンペーンは、木津川市との連携強化により、405人泊（前年比：131人増）と大きく利用者が増加した。 ○「プラス1」造成事業は、宿泊事業者のサービスの高付加価値化の支援につながったが、実績が少なく、より効果的な制度を検討する必要がある。 ○eバイク予約管理システムは、利用件数が少なく利用促進の取組が必要である。				

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部	
	項	01 商工費	14,612千円		14,899千円	287千円	98.0 %			
	目	05 観光振興費					(参考)当初予算額	課	観光振興課	
	事業	04 日本一の砂浜海岸づくり推進事業					16,032千円			
基本計画		04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	国補	デジ 刈田園都市国家構想交付金（1/2）			139千円	
					府補	きょうと地域連携交付金（環境保全事業）			1,100千円	
					府補	きょうと地域連携交付金（滞在型観光地づくり推進事業）			4,300千円	
					寄附金	ふるさと応援寄附金			400千円	
目的	「京都府遊泳者及びプレジャーボートの事故の防止等に関する条例」を遵守し開設する海水浴場開設者に、開設経費の一部を支援し、海水浴を通じた夏季の誘客を促進する。 山陰海岸ユネスコ世界ジオパークを構成する京丹後の美しい砂浜海岸を保全し、一年を通じてにぎわう日本一の砂浜海岸づくりを推進する。									
主要な事務・事業の概要	○水難対策経費		950千円		○砂浜海岸の保全事業費					2,292千円
	・水難救助船運航謝金		6千円		・一斉クリーン作戦（令和5年6月25日実施）					540千円
	・水難啓発救助委託料		80千円		・海水浴場清掃美化業務委託料					1,643千円
	・消耗品費（ビブス・AEDパッド・救急旗）		143千円		・海岸清掃セミナー					18千円
	・備品購入費		314千円		・ワンハンドビーチ事業					91千円
	トランシーバー（3台）、双眼鏡（2台）、メガホン（2個）									
	ライフジャケット（1個）、救命浮輪（1個）、AED（1台）等				○未来earthクリーン事業					187千円
	・連絡所等修繕料等		407千円		・消耗品費（「TSUNAGU」ロゴ入り手袋）					
	○海水浴場開設者支援事業補助金		8,749千円		○砂浜海岸の活用事業					1,790千円
	（連絡員業務に係る連絡所及び必要備品の設置並びに人件費）				・遊歩道堆積砂撤去委託料、遊歩道焼損箇所除去工事等					
全15海水浴場のうち、14海水浴場が開設				○火災保険料					2千円	
○海水浴場情報配信システム		642千円		成果・課題	○府条例及びガイドラインに基づく安全・安心な海水浴場を実現し、夏季の誘客を下支えすることができた。 ○年間を通し、地元区等が実施する海岸清掃を支援したほか、小天橋遊歩道の維持管理を行うことで、砂浜海岸の良好な景観を維持した。 ○ビーチ一斉クリーン作戦により、市民等へ美しい砂浜海岸の価値と保全の大切さを啓発することができた。 ○砂浜海岸の保全について、環境配慮型の取組と発信が必要である。					
・システム使用料		132千円								
・システム改修費		347千円								
・機械器具借上料		163千円								

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部																												
	項	01 商工費	41,620千円		41,620千円	0千円	100.0 %																														
	目	05 観光振興費					(参考)当初予算額	課	観光振興課																												
	事業	05 インバウンド・宿泊促進強化事業					30,000千円																														
基本計画		04 滞在型観光・スポーツ観光の促進	主な財源	繰入金 観光インフラ整備等推進実行調整費基金繰入金 41,620千円																																	
目的		観光インフラ整備等促進実行調整費基金を活用し、魅力ある観光地づくりに資するインフラ整備等の事業に対して補助金を交付し、本市の美しい自然や温泉等豊かな資源を活かした個性ある観光地づくりを推進する。																																			
主要な事務・事業の概要	○観光インフラ整備等促進事業補助金 41,620千円				<table><tr><td>事業区分</td><td>No.</td><td>事業名</td><td>事業費</td><td>補助金</td></tr><tr><td rowspan="2">誘客サイン整備等事業</td><td>14</td><td>夕日ヶ浦温泉観光サイン改修工事</td><td>4,964</td><td>2,256</td></tr><tr><td>15</td><td>野間地区観光案内看板整備工事</td><td>553</td><td>251</td></tr><tr><td rowspan="2">その他事業</td><td>16</td><td>花郷OKADA観光花公園増設工事</td><td>21,933</td><td>9,969</td></tr><tr><td>17</td><td>ツリーハウス公園整備事業</td><td>3,450</td><td>2,822</td></tr><tr><td colspan="3">計（17件）</td><td>81,605</td><td>41,620</td></tr></table>					事業区分	No.	事業名	事業費	補助金	誘客サイン整備等事業	14	夕日ヶ浦温泉観光サイン改修工事	4,964	2,256	15	野間地区観光案内看板整備工事	553	251	その他事業	16	花郷OKADA観光花公園増設工事	21,933	9,969	17	ツリーハウス公園整備事業	3,450	2,822	計（17件）			81,605	41,620
	事業区分	No.	事業名	事業費						補助金																											
	誘客サイン整備等事業	14	夕日ヶ浦温泉観光サイン改修工事	4,964	2,256																																
		15	野間地区観光案内看板整備工事	553	251																																
	その他事業	16	花郷OKADA観光花公園増設工事	21,933	9,969																																
		17	ツリーハウス公園整備事業	3,450	2,822																																
	計（17件）			81,605	41,620																																
	(単位：千円)																																				
	事業区分	No.	事業名	事業費	補助金	<table><tr><td rowspan="2">成果・課題</td><td colspan="4">○温泉源の維持管理や海岸清掃用重機の購入、観光誘客サインの整備等、民間事業者等が行う設備投資を支援することで、観光資源の魅力の向上につながった。 ○引き続き、観光インフラ整備等促進実行調整費基金を適正に管理・運用し、民間の設備投資を積極的に支援することで、魅力ある観光地づくりを進めていく必要がある。</td></tr></table>				成果・課題	○温泉源の維持管理や海岸清掃用重機の購入、観光誘客サインの整備等、民間事業者等が行う設備投資を支援することで、観光資源の魅力の向上につながった。 ○引き続き、観光インフラ整備等促進実行調整費基金を適正に管理・運用し、民間の設備投資を積極的に支援することで、魅力ある観光地づくりを進めていく必要がある。																										
	成果・課題	○温泉源の維持管理や海岸清掃用重機の購入、観光誘客サインの整備等、民間事業者等が行う設備投資を支援することで、観光資源の魅力の向上につながった。 ○引き続き、観光インフラ整備等促進実行調整費基金を適正に管理・運用し、民間の設備投資を積極的に支援することで、魅力ある観光地づくりを進めていく必要がある。																																			
		温泉源・配湯施設改修等事業	1	浅茂川浦島温泉水中ポンプ等取替工事	4,730					3,870																											
	2		鴻の鶴温泉温泉配湯管改修工事	8,690	2,110																																
	3		丹後神野温泉送湯ポンプ等取替工事	1,284	889																																
	4		浅茂川浦島温泉引込計器盤改修工事	396	324																																
	5		丹後神野温泉源泉ケーシング改修工事	13,860	1,340																																
6	小天橋温泉送水ポンプ等改良工事		561	459																																	
7	鳴き砂温泉湯管取替工事		3,586	2,934																																	
8	久美浜カッパ-温泉貯湯タンク制御盤等改良工事		2,098	1,716																																	
9	鴻の鶴温泉水位センサー等整備工事		4,620	3,780																																	
10	鳴き砂温泉貯湯槽設備取替工事		242	198																																	
砂浜清掃用機械購入等事業	11	海岸清掃用機械格納庫修繕（小天橋）	238	194																																	
	12	海岸清掃用機械購入（浜詰）	10,000	8,181																																	
	13	海岸清掃用機械格納庫外壁修繕（小天橋）	400	327																																	

予算科目目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	45,293千円		45,294千円	1千円	99.9 %		
	目	05 観光振興費					(参考)当初予算額	課	観光振興課
	事業	06 観光インフラ整備等促進実行調整費基金					2千円		
基本計画		04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	財産収入 観光インフラ整備等促進実行調整費基金利子収入 48千円				
目的	観光地として魅力ある環境整備を推進することを目的とした観光インフラ整備等促進実行調整費基金への積立金。								
主要な事務・事業の概要	○観光インフラ整備等促進実行調整費基金積立金 45,245千円								
	(参考) 令和4年度入湯税収入額 45,245,400円								
	過年度入湯税還付金 ー 300円								
	45,245,100円								
	○観光インフラ整備等促進実行調整費基金積立金（利子分） 48千円								
	(参考) 基金の状況 (単位：千円)								
令和4年度末 現在高		令和5年度中増減額		令和5年度末 現在高					
①	②	③	④	①-②+③+④					
103,449	41,620	48	45,245	107,122					
				成果・課題					

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部	
	項	01 商工費	2,736千円		2,783千円	47千円	98.3 %			
	目	05 観光振興費					(参考)当初予算額			
	事業	07 観光ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ推進事業						3,741千円	課	観光振興課
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	府補 きょうと地域連携交付金（観光振興事業） 549千円						
目的	各種広報媒体の活用やイベントでのキャンペーン、広域観光団体との連携によるPR活動の展開により、観光資源、観光情報を発信し、観光誘致の促進を図る。									
主要な事務・事業の概要	○誘客事業等情報発信及び広告掲載等経費 330千円				○「ミニポートピア京丹後8周年記念競走」特産展等PR経費【政策企画課】 47千円					
	・FM京都（αステーション）広告（事業告知等：3回） 330千円 海水浴場開設情報×1回 京バイク情報（周遊観光・滞在観光を促すeバイク活用メニュー）×1回 夏の定番活イカ情報×1回				開催日：6/11開催、開催場所：尼崎ボートレース場 ・BTS京丹後開設8周年記念競走に係る大会入賞商品 35千円 （優勝カップ、丹後コシヒカリ米） ・物産展開催に係る旅費、有料道路通行料 12千円					
主要な事務・事業の概要	○観光宣伝活動等事務経費 461千円				成果・課題	○新型コロナの感染症法上の5類移行後は、広域観光団体の会議や観光PRの出展回数が回復しつつあり、域内連携の強化を図ることができた。 OFM京都(αステーション)で、海水浴場駐車場混雑情報システムの案内と、令和5年3月から開始した京バイクに関する放送を行い、長期滞在や周遊観光に向けた新しい観光コンテンツを宣伝できた。 ○京バイクは継続した利用促進を行う必要がある。				
	・旅費、有料道路通行料等 221千円 ・キャンペーン景品、観光宣伝物品等 141千円 ・パンフレット（フィルムコミッション）増版（1,000部） 99千円									
主要な事務・事業の概要	○広域観光団体負担金 1,898千円									
	・（一社）豊岡観光イノベーション（豊岡DMO） 300千円 ・（公社）京都府観光連盟 390千円 ・北近畿広域観光連盟 1,108千円 ・（特非）ジャパン・フィルムコミッション 100千円									

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	145,605千円		147,904千円	2,299千円	98.4 %		
	目	05 観光振興費					(参考)当初予算額		
	事業	08 地域総ぐるみ観光地づくり事業						154,267千円	課
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	国補 デジタル田園都市国家構想交付金（1/2） 9,720千円					
目的	京都府北部地域連携都市圏振興社（海の京都DMO）に参画するとともに、同京丹後地域本部（京丹後市観光公社）の活動を支援することで、海の京都観光圏における京丹後市の観光振興を図る。 また、京丹後市観光立市推進会議を開催し、第4次京丹後市観光振興計画の進捗状況の検証等を行う。			繰入金 ふるさと応援基金繰入金 30,000千円					
主要な事務・事業の概要	○京都府北部地域連携都市圏振興社（海の京都DMO）運営負担金 15,226千円		○地域おこし企業人交流プログラム受入事業負担金 20,000千円						
	府と北部7市町等で構成する海の京都DMOの運営に関する経費を負担し、コロナ禍を踏まえた事業者の取組支援や観光から移住に向けた人の流れの創出と持続可能な地域づくり、来訪者ニーズの把握と効果的な情報発信による海の京都ファンの拡大、訪日旅行の需要回復を見据えたインバウンド対策に取り組んだ。		総務省「地域おこし企業人交流プログラム」事業を活用し、観光に関する専門的なノウハウや知見を有する大手旅行会社の社員を受け入れた。 令和3年2月1日～令和6年3月31日（1人・ANAあきんど(株)） 令和5年4月1日～令和9年3月31日（予定）（1人・(株)日本旅行）						
	○京都府北部地域連携都市圏振興社京丹後地域本部（京丹後市観光公社）補助金 100,000千円		・配置部署：商工観光部観光振興課[勤務場所：京丹後市観光公社] ・活動内容：ヘルスツーリズム、インバウンド・首都圏誘客キャンペーン等						
	事業費	国内外観光プロモーション・マーケティング事業	46,415千円	○国際交流員（CIR）任用経費（1人） 4,825千円					
		インナープロモーション事業	1,693千円	京丹後市観光公社へ派遣（令和元年8月から5年間）					
		「海の京都」認定観光案内所事業	5,312千円	報酬、社会保険料、雇用保険料、研修旅費 4,711千円					
		受託業務事業	27,246千円	一般財団法人自治体国際化協会負担金 114千円					
		海の京都エリア活性化事業（6支部活動補助金）	3,932千円	○タ日がつなぐ京丹後推進協議会負担金 560千円					
		小 計	84,598千円	○会計年度任用職員任用経費（1人、10～3月） 1,282千円					
	管理費	本部・支部の事務経費及び支部職員の人件費等	15,402千円	成果・課題	○インターネットやSNS等を活用したデジタルプロモーションの実践と、Web広告の配信状況の分析、サイト改善や広告配信により認知度向上を図った。 ○地域おこし企業人交流プログラム事業の活用により、民間企業の専門人材を観光公社に派遣し、誘客キャンペーンの実施やPR活動を実施した。 ○市域全体で観光プロモーションが進むよう、観光公社会員の増加と異業種間連携の促進に繋がる仕組みづくり等、引き続き推進する必要がある。 ○大阪・関西万博へ向けたツアー造成を推進していく必要がある。				
○京丹後市観光立市推進会議委員報酬・費用弁償 232千円									
・全体2回、検討部会1回									
○地域おこし協力隊 3,480千円									
	・報酬（165千円/月×12か月）、期末手当、社会保険料等	2,816千円							
	・車両借上料、車両保険料、家屋借上料、燃料費、消耗品費	664千円							

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	57,869千円		148,090千円	90,221千円	39.0 %		
	目	06 観光等施設費					(参考)当初予算額	課	観光振興課
	事業	01 海浜等施設管理事業					89,293千円		
基本計画		04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	市債 観光施設整備事業債（過疎債） 47,300千円				
目的	海水浴場等に設置されているトイレ、シャワー、更衣室等の観光関連施設の清掃、維持管理及び改修を行うことにより、観光客等の利便性及び快適性の向上を図る。								
主要な事務・事業の概要	○海浜等施設管理経費〔一部、各町域の市民局へ配当〕			9,565千円		○海水浴場公衆トイレ改修工事 4,782千円			
	・管理用消耗品費			67千円		女子トイレ洋式化：[小天橋、浜詰3か所、遊、小浜、砂方、竹野、中浜2か所（計 10か所、各1基）]			
	・光熱水費			2,421千円		外装改修：浜詰			
	・修繕料			1,827千円		○琴引浜掛津海水浴場公衆トイレ整備工事 43,522千円			
・手数料（し尿処理・浄化槽法定点検等）			959千円		・委託料（工事設計委託） 2,992千円				
・保険料			88千円		・工事請負費（トイレ新設、浄化槽設置、排水管敷設工事） 40,530千円				
・委託料（海水浴場清掃美化・浄化槽維持管理等）			4,039千円		※2か年で実施（R5：新設トイレ整備、R6：既設トイレ改修）				
・使用料及び賃借料（土地借上料）			164千円		参考				
中浜オートキャンプ場用地：3,565㎡					繰越明許費を除いた最終予算額 58,220千円				
					実質的な予算執行率 99.3%				
					■令和6年度への繰越事業				
					・琴引浜掛津海水浴場公衆トイレ整備 89,870千円				
					令和6年8月末完了				
					成果・課題	○海水浴場等に設置しているシャワー・トイレ、脱衣所、炊事棟等の適切に維持管理や、女子トイレの一部洋式化により、快適な利用環境を提供することができた。 ○安全快適な利用環境を確保するため、計画的に修繕を進めていく必要がある。			

予算科目目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部	
	項	01 商工費	15,892千円		16,285千円	393千円	97.5 %			
	目	06 観光等施設費					(参考)当初予算額	課	観光振興課	
	事業	02 自然公園管理事業					17,708千円			
基本計画		04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	府委	国立公園・国定公園管理委託金			12,100千円	
					市債	観光施設整備事業債（過疎債）			1,000千円	
目的		京都府から管理委託を受けた国立公園及び国定公園区域内にある公園施設等の適正な維持管理を行い、自然公園の環境保全及び活用を促進する。								
主要な事務・事業の概要	山陰海岸国立公園、丹後天橋立大江山国定公園にある京都府管理の自然公園施設（京都府から本市へ管理委託され、市は地元区等に再委託）の維持管理及び環境保全を行った。									
	○自然公園施設等管理経費〔各町域の市民局へ配当〕 14,857千円									
		・自然公園施設等管理委託料（12園地・4遊歩道） 6,658千円								
		・自然公園内ごみ収集委託料（5園地） 2,631千円								
		・トイレ清掃・水道施設管理、バイオトイレ維持管理委託料 1,190千円								
		・し尿汲取手数料（7園地） 1,685千円								
		・修繕料（高嶋炊事施設漏水修繕、経ヶ岬園地送水ポンプ修繕） 727千円								
		・通信運搬費（経ヶ岬園地水道施設遠方監視システム） 32千円								
		・消耗品費、光熱水費（10園地） 1,763千円								
		・火災保険料（五色浜園地給水装置機械室棟、丹後松島トイレ） 11千円								
		・土地借上料（後ヶ浜園地トイレ用地、経ヶ岬園地駐車場用地） 160千円								
						【参考】				
						○自然公園公衆トイレ洋式化改修工事〔葛野浜、湊松原〕 1,035千円				
						・工事請負費				
						○観光客に安全で快適な環境を提供するため、自然公園施設等の維持管理及び環境保全を実施した。				
						○自然公園に設置しているトイレの適切な維持管理や、女子トイレの一部洋式化により、快適な利用環境を提供することができた。				
						○改修の必要な施設や撤去・修繕の必要な看板について、常時現状把握を行い、京都府へ早急な対応を求めている必要がある。				

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部	
	項	01 商工費	16,278千円		16,681千円	403千円	97.5 %			
	目	06 観光等施設費					(参考)当初予算額	課	観光振興課	
	事業	50 観光等施設一般経費				15,599千円				
基本計画		04 滞在型観光・スポーツ観光の促進	主な財源	府委	碓高原畜産展示資料館管理委託金				974千円	
目的	市内の公園、トイレ、休憩所等の公共用施設を適切に維持管理することにより、市民、観光客等の憩いの場としての環境づくりを推進する。			諸収入	丹後温泉電力料				451千円	
				諸収入	丹後温泉源泉管理負担金				238千円	
				諸収入	公共井戸水 電力費				1千円	
				諸収入	市有建物災害共済保険料負担金				22千円	
				諸収入	山内陶芸作業棟光熱水費負担金				83千円	
主要な事務・事業の概要	○施設管理委託料（清掃、草刈り、水質検査、機械警備等）			8,711千円		・土地借上料（ブナハウス内山用地等）				806千円
	地域名		施設名		・負担金（おおみや小町温泉温泉源スタンド電気料負担等）					21千円
	峰山地域		羽衣茶屋、泉の爽香苑、薬師ヶ丘さくらの森公園等		・工事請負費					2,040千円
	大宮地域		平地地蔵公園、ブナハウス内山、おおみや小町温泉源等		後ヶ浜海岸線・城嶋公園外灯工事					
	網野地域		子午線塔、静の杜、離湖公園、霧降の滝公園等		コミュニティプラザ遊具・ベンチ・ゴミ箱撤去工事					
	丹後地域		経ヶ岬・碓高原水道施設、碓高原畜産展示資料館等		あしぎぬ温泉付近観光看板撤去工事					
	久美浜地域		東山公園、城山公園、山内施設等							
	○その他の維持管理経費			7,567千円						
	・消耗品費（施設管理用消耗品等）			234千円		成果・課題	市内の公園、トイレ、休憩所等の公共用施設を適切に維持管理することにより、市民、観光客等の憩いの場としての安全で快適な施設環境を提供できた。			
	・燃料費（離湖管理棟灯油代）			10千円						
	・光熱水費（トイレ等電気料、上下水道使用料等）			1,372千円						
	・修繕料等（碓高原公共井戸供給設備等）			2,455千円						
	・通信運搬費（離湖公園電話料等）			31千円						
	・手数料（し尿汲取手数料等）			389千円						
	・保険料（建物火災保険）			209千円						

予算科目	款	07 商工費		本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	商工観光部	
	項	01 商工費		181,714千円		181,846千円		132千円		99.9 %				
	目	06 観光等施設費								(参考)当初予算額				
	事業	03 観光等指定管理施設運営事業								178,955千円		課	観光振興課	
基本計画		04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	諸収入		弥栄あしぎぬ温泉電気代等負担金		9,759千円					
目的		観光関連施設の効果的かつ効率的な管理運営と利用者サービスの向上を図るため、指定管理者に施設の管理運営を委託するとともに、施設設備の適切な維持管理を行う。			市債		過疎地域持続的発展特別事業債（過疎債7/7）		101,800千円					
主要な事務・事業の概要	○委託料				162,019千円		○需用費（弥栄あしぎぬ温泉電気代等）				9,576千円			
	・電気設備保守（弥栄あしぎぬ温泉）				183千円		○修繕料（森林公園スイス村スノーモービル保守）				279千円			
	・害虫駆除委託料（碓高原ステーキハウス、かぶと山公園）				192千円		○消耗品費				3千円			
	・雑木伐採委託料（小町公園）				473千円		○役務費				2,246千円			
	・特殊建築物定期報告業務委託料				1,650千円		・水質検査等手数料				895千円			
	（浅茂川温泉静の里、はしうど荘、宇川温泉よし野の里、弥栄あしぎぬ温泉、森林公園スイス村）						・火災、自動車損害保険料				1,348千円			
	・指定管理委託料				159,521千円		・ごみ持込処理手数料（森林公園スイス村備品処分）				3千円			
	施設名		金額		施設名		金額		○使用料及び賃借料				2,117千円	
	天女の里		10,623千円		宇川温泉よし野の里		13,821千円		・土地借上料（施設用地9か所）				1,312千円	
	小町公園		3,778千円		森林公園スイス村		36,078千円		・機械器具借上料（AED16台）				805千円	
	浅茂川温泉静の里		37,307千円		弥栄あしぎぬ温泉		18,892千円		○補償金（弥栄あしぎぬ温泉浴室改修工事休業補償）				5,474千円	
	道の駅てんきてんき丹後		14,244千円		久美浜豪商「稲葉本家」		6,099千円		※休業期間：令和5年9月4日～11月1日					
	はしうど荘		7,186千円		かぶと山公園		7,244千円		成果・課題				○民間事業者のノウハウを活かし、観光施設の適切な運営と維持管理を行うことができた。 ○光熱費等が高騰する中、施設の運営が安定して継続できるよう支援を行った。 ○老朽化が進む施設において、引き続き、安全性・快適性が確保できるよう、指定管理者と情報を共有しつつ、適切に維持管理を行っていく必要がある。	
	碓高原ステーキハウス		4,249千円											
				合計		159,521千円								
※指定管理委託料は、使用料見直し、人件費・燃料費等の高騰支援を含む。 （加算額合計：25,574千円）														

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部							
	項	01 商工費					94.6 %									
	目	06 観光等施設費	206,155千円		217,898千円	11,743千円	(参考)当初予算額	課	観光振興課							
	事業	04 観光等指定管理施設大規模改修事業					152,725千円									
基本計画		04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	国補	観光地・観光産業再生・高付加価値化事業補助金（1/2）			20,000千円							
					寄附金	ふるさと応援寄附金			500千円							
					繰入金	ふるさと応援基金繰入金			10,000千円							
					市債	観光施設整備事業債（過疎債）			62,500千円							
					市債	観光施設整備事業債（合併特例債）			68,500千円							
目的		観光関連の指定管理施設において、大規模な施設改修・修繕を市が行い、施設の適切な維持管理に努める。														
主要な事務・事業の概要	○消耗品費（よし野の里 内壁落下防止シート）		5千円		○備品購入費					55,989千円						
	○修繕料		4,591千円		・スイス村庄雪車1台					50,380千円						
	・森林公園スイス村 鋼板屋根修繕ほか6件		1,136千円		・冷蔵庫3台、冷凍庫3台					2,994千円						
	・浅茂川温泉静の里 自吸式ポンプ修繕ほか5件		1,511千円		・ガスフライヤー、回転窯、ガスレンジ、電子レンジ 各1台					1,696千円						
	・道の駅てんきてんき丹後 棟瓦修繕ほか4件		224千円		・プールコースロープ1式、授乳室設置備品1式					919千円						
	・碓高原ステーキハウス 屋根強風破損修繕		627千円		○委託料（工事設計・監理業務、調査業務、産廃処分）					4,894千円						
	・かぶと山公園 漏水修繕ほか3件		719千円		○使用料（道の駅てんきてんき丹後仮設トイレ借上料）					2,662千円						
	・よし野の里 浴室内壁修繕		374千円		○手数料等（備品処分手数料、通信運搬費、機器設置手数料）					966千円						
	○工事請負費		137,048千円		<table><tr><td rowspan="2">参考</td><td colspan="2">繰越明許費を除いた最終予算額</td><td>206,498千円</td></tr><tr><td colspan="2">実質的な予算執行率</td><td>99.8%</td></tr></table>					参考	繰越明許費を除いた最終予算額		206,498千円	実質的な予算執行率		99.8%
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額		206,498千円												
		実質的な予算執行率		99.8%												
	・よし野の里 ろ過設備改修ほか5件		9,127千円		■令和6年度への繰越事業											
	・碓高原ステーキハウス 外周手摺取替ほか1件		1,072千円		・スイス村グレンデ広場等施設整備事業 令和6年7月完了 8,900千円											
	・道の駅てんきてんき丹後 トイレ改修ほか3件		65,641千円		・スイス村水道処理施設ろ過装置改修事業 令和6年4月完了 2,500千円											
	・かぶと山公園 外灯取替ほか5件		2,894千円													
	・森林公園スイス村 浄化槽配管取替ほか18件		12,976千円													
	・あしぎぬ温泉 浴室天井改修ほか3件		23,089千円													
・天女の里 空調設備改修ほか1件		16,787千円														
・はしうど荘 空調機取替ほか1件		1,672千円														
・浅茂川温泉静の里 プール照明取替ほか3件		2,738千円														
・豪商「稲葉本家」 空調機取替ほか1件		1,052千円														
				成果・課題	○必要な修繕等を実施することにより、公共施設を適正に保全するとともに、利用者の安全性、利便性及び快適性を確保することができた。 ○老朽化による不具合箇所を早期発見し、予防措置を講じることにより損傷の拡大を防ぐ必要がある。											

予算科目目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	2,673千円		3,000千円	327千円	89.1 %		
	目	06 観光等施設費					(参考)繰越予算額	課	観光振興課
	事業	04 観光等指定管理施設大規模改修事業（繰越）					3,000千円		
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	市債 観光施設整備事業債（合併特例債） 2,500千円					
目的	天女の里の水道設備で動作不良が生じたため、繰越を設定し取替工事を行う。								
主要な事務・事業の概要	○工事請負費 ・天女の里受水槽給水ポンプユニット改修工事 令和5年5月完了			2,673千円					
						成果・課題	指定管理施設の安心・安全な維持管理に努めることができた。		

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市民環境部		
	項	01 保健衛生費	29,555千円		29,693千円	138千円	99.5 %				
	目	07 環境衛生費					(参考)当初予算額	課	生活環境課		
	事業	08 海岸漂着物対策推進事業【再掲】					31,977千円				
基本計画		05 次世代への美しい自然環境の継承		主な財源	府補	海岸漂着物地域対策推進事業補助金（8/10・10/10）			27,425千円		
目的	海岸における良好な景観及び環境の保全を図るため、京都府の補助事業を活用し、地区等に委託して海岸漂着物の回収及び処理を行うとともに、発生抑制対策（ソフト事業）を実施することで、海洋汚染及び海岸漂着物対策を推進する。				府補	きょうと地域連携交付金（環境保全事業）			40千円		
				府委	海岸漂着物回収委託金			132千円			
主要な事務・事業の概要	○海岸漂着物処理手数料				18,339千円		○海岸漂着物発生抑制対策（ソフト事業）経費				427千円
	・海岸漂着物処理量				229.26t		環境保全ワークショップ（参加者数：12人）				35千円
	○環境保全負担金				230千円		・講師謝金（市内：2人）				20千円
	・市外の処理施設で処理する場合に必要となる受入先自治体への負担金						・消耗品費				15千円
	○海岸漂着物回収処理委託料（地元区・地元団体）				10,479千円		水をつなぐクリーン大作戦				9千円
	・府管理海岸				6,230千円		・啓発のぼり旗用ポール購入				20本
	・市管理海岸				3,919千円		海岸清掃及び環境学習				210千円
	・オイルボール回収				330千円		・清掃資材				33千円
	区分（担当課）		海岸名称【町名】				・バス運転委託料（市内中学校1・2年生 355人対象）				177千円
	市管理海岸（観光振興課）		【久美浜】蒲井海岸 【網野】琴引浜（掛津、遊） 【丹後】砂方漁港海岸、竹野海岸、中浜海岸、袖志海岸				啓発用物品等				173千円
	府管理海岸（観光振興課）		【久美浜】箱石湊宮葛野海岸 【網野】浅茂川海岸、浜詰海岸、小浜海岸 【丹後】後ヶ浜海岸、上野平海岸（上野・平）、久僧海岸				・写真パネル借上等（峰山庁舎、はだしのコンサートにて展示）				6千円
	府管理海岸（管理課）		【丹後】上向下向海岸、尾和海岸、岩田海岸、此代海岸				・エコバッグ（400個）				167千円
○海岸漂着物ボランティア清掃支援				80千円		成果・課題	○市内17海岸で海岸清掃を行い、景観保護と環境保全を行うことができた。 ○海岸ごみ拾いイベント等啓発事業の実施及び啓発教材の作成・活用により、海ごみ問題の現状や課題を知る機会を提供できた。 ○事業継続と財源確保に向けて、引き続き、国及び府に対して支援を求めていく必要がある。				
・回収漂着物運搬委託料（12件）											